

## 平成26年度第1回放送番組審議会 議事録

- 開催日時 平成26年9月29日(月) 14時から15時30分
- 開催場所 三次商工会議所 2階会議室
- 出席者委員 添田龍彦・藤井啓介・岩本智建・宗清弘樹・田村眞司・重信富子  
前田茂・岩崎積・山岡幸子
- 欠席者委員 元泉園子・湯藤浩康
- 説明員 (株)三次ケーブルビジョン  
田坂代表取締役社長・新宅専務取締役・山光管理部長・野田制作部長  
幸住管理課長補佐・坪井管理課長補佐・津田制作課長補佐
- 1 開 会 定刻になり事務局が開会を宣言。任期満了に伴い、新たに就任した委員に対して、代表取締役社長が放送番組審議会委員の委嘱状を交付、続いて代表取締役社長が開会にあたって挨拶する。
- 2 正副会長互選 放送番組審議会規則第5条に従い、会長及び副会長の選出に入り、会長に元泉園子氏、副会長に添田龍彦氏が選出された。(事務局より、会長就任は事前に承諾を得ていると報告)
- 3 挨拶 元泉会長が欠席のため、添田副会長が就任にあたって挨拶を述べた。
- 4 審 議 審議に先立ち、制作部長が「あっちこっち三次」の特集コーナー『ぼくらのみらい』と『あっちこっちクッキング』について企画意図及び概要を説明し、番組のDVDを上映する。
- 副会長(司会) 番組内容について、DVDを参考に忌憚のない意見を願います。  
まず、『ぼくらのみらい』についてお願いしたい。
- 委 員 子ども達の元気な姿がよく伝わって良かった。できれば、野菜を作る過程の紹介があれば良かったと感じた。
- 委 員 地域を紹介する番組として、その地域の人にとっては見たいものかもしれないが、全市で考えた時に、市民が見たい番組なのだろうかという思いがある。

委員 子ども達の農業体験(ピオーネ作り)を紹介する番組を合わせて見た。工夫しながら、いろいろな生産過程での体験をする子ども達取材していた。体験を通して、子ども達にとっていい評価ができるようなものを引き続き考えていてほしい。

委員 月1回の番組なので、このような(子ども達の姿を紹介する)内容のものがあったらいいと思う。お祖父さん・お祖母さんは、孫が出るのを楽しみにされている。保育所や幼稚園では、イベントをいろいろされているので、それを取り入れて作ってもらえたらいいと思う。

委員 保育所の様子だけでなく、地域の人口に触れたりして(少子化といった)地域の危機感を伝えることも必要かと思う。(田幸保育所の園児は23名と言っていた。)

委員 ケーブルテレビ局の役割は、NHKや民放とは別のものがある。受け手側にとって興味を惹かれるものがあるのがよい。田幸保育所の取り組みは、田舎に住んでいる子ども達をどのように育てているかがよくわかる内容だった。田舎に住んでいるからこそ、自然や農業、作物を作る体験を通して育っていく子どもになってほしい。

リポーターが変わっているのは、新鮮で良かった。

委員 子どもが主役の番組は安心して視聴できる。心が和む。これからも子どもを題材にした番組を作ってほしい。

タイトルが『ぼくらのみらい』になっているが、そのテーマが伝わってこなかった。保育士がインタビューされて、最後に子ども達への将来の願いを少し話されていたが、テーマが感じられなかった。

委員 少子化が進んで、普段、子どもの姿を見ることが少ない中で、市内の保育所や幼稚園の様子を放送することはいいことだと思う。このコーナーの後で、地域で頑張っておられるおばあさんの紹介があった。子ども達の姿の後で、元気な高齢者の紹介があり、いいなと思った。

(希望として)市内で働く20代・30代の若い人達の仕事ぶり取材して、小学生や中学生に見てもらおうという企画があればいいのではないかと思った。

副会長(司会) 皆さんの意見の中で、コーナー名にある『みらい』というテーマが番組の全面に出ていないという意見が気になった。保育士が、子ども達への将来の願いを、

少し話されていたが、番組そのものを見て子ども達のみらいを伝えられているかといえば、そうならないように思う。

見方を変えてみると、子ども達を題材にした番組を見ることによって、視聴者に、これからの三次市の将来を、この子ども達が担ってくれることを考えてもらい、子ども達のみらいを感じとってもらおうという効果はあると思う。

社 側 「子ども達のみらい」というのは、子ども達の生き生きした顔を見て、みんなが考えることだろう。この子ども達を幸せにしてやろう、と皆が考えなければならぬ。素晴らしい子ども達の笑顔、これを大切にしていこうと大人が感じる事が未来につながるという、タイトルのつけ方であるにご理解いただきたい。

社 側 今まで、番組の中で必ず子ども達に「将来なりたいもの」を聞いていた。しかし、5年経って、最近ではほとんど似たような内容のものになってきた。そこで、今年の7月のリニューアルにあたって、新しいリポーターが子どもと元気に触れ合う内容にしようということになった。今回見ていただいたものでリニューアルして3回目となる。本日いただいた意見を元に、また内容について検討していきたい。

委 員 タイトルの『ぼくら』という表現はどうだろうか。女の子は、『ぼく』とは言わないのではないか。

副会長（司会） 大きく解釈すると、『ぼくら』という言い方は、幼い子ども達しかしないので、『ぼくら』のなかに、女の子も含まれていると捉えられないだろうか。

社 側 このタイトルを5年前に決める時に、スタッフからもいろいろ意見が出て、相当協議した。小学生以上は、男の子と女の子の区別がついてくるが、保育所や幼稚園に通う小さな子ども達は、まだその区別があまりなくて、『ぼくら』という言い方が性別に関係なく可愛いのではないかという意見に落ち着いてこの表現になったという、経緯がある。

今後、タイトルについては慎重に決めていきたい。

委 員 このタイトルを決めた時の経緯や意識されたことが判った。  
番組を見られる方は、様々な考えの方がおられるので、タイトルのつけ方には、配慮していただきたい。

副会長（司会） 続いて、『あっちこっちクッキング』についての意見を願います。

委員 『山の芋』が吉舎町の特産品だというPRがもっとあれば良かった。作り方は解りやすかった。

委員 リポーターの話（言葉）と字幕に食い違いがあった。自分でも作れると思うような解りやすい作り方だった。

委員 （取材時に）地域の人々の発音が聞きとりづらい時がある。改善できるのであれば、改善してほしい。

食生活改善推進委員さんの役割について、番組のなかで紹介したらよいと思う。

委員 簡単なレシピで、解りやすくて良い。リポーターの話は聞きとりやすい。

委員 地域には、男性の料理教室もあるので、できればそういうものも加えてはどうか。

食材の効能は、どの程度まで言っているものなのか。

社側 一般論として、「この野菜を食べたら、こういう効果があります」というのと「これを食べたら〇〇病に効きます」というのは違う。医師免許や薬事免許のない者が、医学的な講演会などで「〇〇に効きます」と言うのは良くない。

社側 このリポーターは、野菜ソムリエの資格を取っており、各々の野菜について知識を持っているので、その知識の中で、その野菜を食べた時の、一般的な効果、伝統的な効能を紹介している。

委員 この番組を見て、自分も山の芋を使って料理を作りたいという気持ちになった。山の芋が吉舎の特産物であることを伝えるのに効果があり、販売促進にも繋がっていると思う。

また、リポーターが魅力的で、この番組について引き寄せられて視聴した。

委員 料理の作り方が親切、丁寧で解りやすかった。企画意図にある町の特産品や食推活動のPRが少し薄いと感じた。二人の掛け合いの中に、町の特産品であることや、山の芋の効能の話題があれば、料理を作りながらそのPRができて最後にスタジオで効能の紹介をするよりは、視聴者に対して説得力があるので

はないかと感じた。

委員 山の芋が吉舎町の特産品であることを知らない人に対して、もう少しPRがあっても良かったかと思った。ただ知っている人には、くどいと思われる場合もある。

副会長(司会) いろいろ出てきた意見の中で、気を付けていただきたい点をまとめる。  
まず、(番組で話している)言葉と字幕が違っていた。是非改善していただきたい。次に、取材に慣れていない地域の人々の音声が途切れることがある。これも注意していただきたい。その他の意見で、三次市食生活改善推進協議会以外の、例えば男性料理教室を取り上げてはどうか、というものがあつたが。

社側 本来であれば、スタジオにセットがありそこで番組を作りたいが、予算上無理なので、各地域に伺ってコミュニティセンター等の調理室を使わせていただかなくてはならない。各地域では、食推協議会が活動されているので、そこに行くのであれば協力して料理番組を作りましょうということで、できあがった番組である。(他の料理教室などに)呼んでいただいて、場所をお借りできるのであれば、それも検討していきたい。

社側 字幕の誤りは、当社のミスであるので、今後はこういうことがないようにしたい。

委員 視聴率調査は、されていないのか。

社側 民放がされるような、視聴率調査はかなり費用がかかるため、困難である。過去にアンケート調査を実施して、『あっちこっち三次』は、かなりの人に見ていただけていることは把握できたが、再放送もあり視聴率の把握にはならない。

副会長(司会) 『あっちこっちクッキング』は、地元の特産品を使った料理やレシピを紹介するので、かなり人気が高いのではないかと思う。地元の野菜を使うので、興味を持ってみる人が多いだろう。

いろいろな意見をいただいたが、ほかに意見はないだろうか。

委員 『ぼくらのみらい』の中で、保育所の子ども達と野菜を収穫するときのリポーターの服装がそぐわなかったように感じた。

副会長(司会) 本日は、皆様から熱心な意見をいただき、初めての司会をスムーズに進行

できたことを感謝申しあげる。これで放送番組審議会を終了する。

- 5 閉 会 事務局が本日のニュース番組「情報ストリート、あっちこっち三次」で、この審議会の模様を放送し、議事録を HP に掲載することを伝え、閉会した。